

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-190	15-110	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
<p>A Multisite Initiative to Increase the Use of Alcohol Screening and Brief Intervention Through Resident Training and Clinic Systems Changes.</p> <p>アルコールスクリーニング法と短期介入の活用を増やすための、研修医トレーニングプログラムと研修施設の連携した取り組み</p>		
<b>執筆者</b>		
Seale JP, Johnson JA, Clark DC, Shellenberger S, Pusser AT, Dhaliwala J, Sigman EJ, Dittmer T, Barnes Le K, Miller DP, Clemow D.		
<b>掲載誌</b>		
Acad Med. 2015 Dec;90(12):1707-12. doi: 10.1097/ACM.0000000000000846.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
アルコールスクリーニング、短期介入、研修医トレーニング		26200578
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b> スクリーニングと短期介入(SBI)は、初期診療患者の不健康なアルコール摂取量を減らすためのエビデンスに基づいた診療であるが、あまり活用されていない。このプロジェクトでは、アルコールに対する SBI の活用を増やすための、地域における研修医トレーニングの取り組みの効果を評価した。</p> <p><b>方法：</b> 調査者はアルコール SBI についての研修医トレーニングプログラムの取り組みと、研修施設における SBI の実施状況の情報をリンクして、4 つの研修施設における研修医トレーニングプログラムの取り組みが SBI 実施割合に及ぼす影響を評価した。無作為抽出したカルテ記録を用いて、研修医トレーニングプログラム実施前 (2010; n = 662) と後 (2011; n = 656) のデータを収集し比較した。飲酒に関して用いたスクリーニング法、スクリーニング結果(陽性あるいは陰性)、患者が短期介入を受けた記録、抗酒薬の処方、そしてアルコール治療への紹介の有無など調べた。カイ二乗検定にて SBI についての研修医トレーニングプログラム前後の差を分析した。</p> <p><b>結果：</b> 研修医トレーニングプログラムの実施後、確立された方法を用いて飲酒に関するスクリーニングを実施した割合は、プログラム実施前 151/662(22.8%)からプログラム実施後 543/656(82.8%,P&lt;.01)へ増加し、スクリーニングの結果、不健康なアルコール摂取者と識別した割合は 12/662(1.8%)から 41/656(6.3%,P&lt;.01)へ増加した。短期介入の実施は2倍以上であった(10/662 [1.5%] 対 24/656 [3.7%] ,P&lt;.01)。抗酒薬の処方またはアルコール治療への紹介の増加はなかった。</p> <p><b>結論：</b> 研修医トレーニングプログラムと研修施設の連携した取り組みにより、研修施設でのアルコール SBI のようなエビデンスに基づいた診療の実施を増やすことができる。</p>		